

宇品カレッジ1期

「日本語の奥深さ」

我々は、同じ一冊の日本語辞書を頭の中にもっているわけではありません。人々は、それぞれの暮らし・交わり・精神生活の中で、必要な言葉をつくっています。その実態を詳しくみていくことで、日本語のひろがりとお深さを理解することができます。

◆第1回 11月28日(金) 県立広島大学 名誉教授 友定 賢治
「方言ーこの豊かなるものー」

方言は「暮らしのことば」であり、地域の生活に即した豊かな言葉は、人々の日々の暮らしや地域の文化・歴史を教えてくれます。その一方で、現代の方言は、言語文化を豊かにするものとして、さまざまな使われ方をしています。方言をこの二つの面からみていきます。

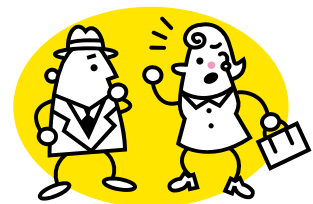
◆第2回 12月 5日(金) 県立広島大学 名誉教授 友定 賢治
「若者のことばー巧妙なことばづくりー」

「若者ことば」は、いつの時代も批判の対象となってきましたが、決してなくなることはありません。上の世代に対する批判意識や、仲間意識に基づく巧妙なことばが自分たちのアイデンティティーとなっているのです。若者ことばを「つながりことば」という側面からみていきます。

◆第3回 12月12日(金) 県立広島大学 准教授 小川 俊輔
「キリスト教関係のことばの日本語化」

キリスト教は1549年のザビエル来日を機に日本に入ってきたものです。現在、日本におけるキリスト教信者の割合は1%未満だと言われています。しかし、多くのキリスト教関係の言葉が、一般語として広く使われています。歩行者天国、三位一体の改革、広島カープの救世主…豊富な具体例に基づいて言葉の変遷について考えてみましょう。

時 間：10:00～11:30
場 所：宇品公民館 4階 研修室1
対 象：どなたでも(全3回参加できる方)
定 員：50名(先着順)
参加費：無料
申込み：10月25日より宇品公民館へ来館、または電話で
主 催：県立広島大学・宇品公民館



問い合わせ：(公財) 広島市文化財団 宇品公民館
南区宇品御幸4丁目1番2号 tel・fax 253-2529